

# デジタル照度計 IM-2D

## 取扱説明書 Rev. 6.0

このたびは当社 デジタル照度計 IM-2D をご購入いただき、まことにありがとうございます。

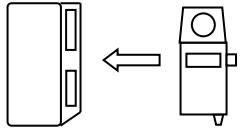
ご使用に先だて、この取扱説明書をご一読いただき、正しい取扱方法によって、本器の性能を十分ご活用いただけますとともに、長期のご愛用をお願い申し上げます。

### 特徴

- レンジは自動的に選択されますので、めんどろなレンジ選択が不要です。
- 一定時間（約20秒）表示を保持しますので、読取、記録確認や任意の方向の照度が簡単に測定できます。
- オートパワーオフ機能（自動的に電源切断）を持っていますので、電池を浪費しません。（1～2時間/日の間欠的な使用の場合、約1000時間以上使用できます。）

### ご使用上のお願い

- 測定光は受光窓全面に当てて使用してください。受光窓全面に光が入射しない場合、正しい照度を表示しません。
- 受光窓内の感度は均一ではありません。スポット光など部分的に光を当てて、受光窓の面積により照度を算出する測定は使用できません。
- 使用状態でない時でも、過大の光（直射日光等）を与えますと、劣化の原因となりますので、必ずキャップをして保管してください。
- レザーケースには、下図の方向で収納してください。逆に収納しますと、測定スイッチがONになり、電池の消耗を早めますので、ご注意ください。

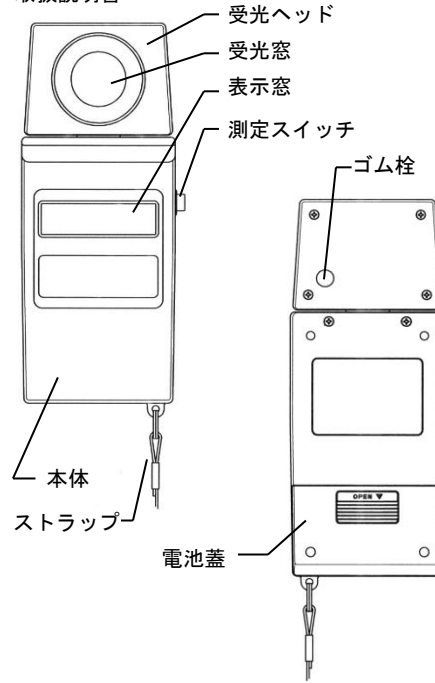


- 受光窓が汚れますと光の透過が妨げられ、測定誤差の要因となりますから、乾燥した布切れ等で拭いてください。
- 故障の原因となりますから、落下等の強い衝撃や振動は避けてください。
- 本体ケースはプラスチックですので、薬品（アセトン、ケトン、シンナー等）で拭いたり、60℃以上の温度に近づけないでください。
- 校正試験を1年に1回程度行ってください。
- 本器は精密な電子部品で構成されていますから、絶対に分解しないでください。万一異常が生じた場合、または校正の依頼は、お買上げ店もしくは当社営業部門にご相談ください。

### 構成

本器の構成は次のとおりです。

- (1) 本体（ストラップ付）
- (2) キャップ
- (3) 9V乾電池（形式6F22）（別売り）
- (4) レザーケース
- (5) 取扱説明書



### 取扱方法

- (1) レザーケースから取り出します。
- (2) キャップをかぶせたまま、2秒程スイッチを押し続け、表示が《00.0》となっていること、およびバッテリー低下表示《.》が出ていることを確認します。

#### 零調整

表示が《00.0》とならない場合、零調整を行います。受光部裏側のゴム栓を外し、スイッチを押しながらセットドライバーで《00.0》に調整してください。調整後は必ずゴム栓をしてください。

- (3) キャップを外し、受光面に光を入射させてスイッチを押し続けます。
- (4) 表示が安定したところでスイッチを離すと、その時の表示がホールドされますので、表示値を読み取ります。約20秒後に電源が自動的に切れます。
- (5) ホールド中にスイッチを押せばホールドが解除され、その時の入射光に応じた照度値が表示されます。

### 表示

- 《.》表示の点灯は、バッテリーの低下表示です。市販の9V乾電池（形式6F22または6LF22）と取り換えてください。電池の極性（+）を間違わないようにしてください。
- 《---》表示は、内部で適正な測光レンズを切り換えている時に表示されます。3秒以上この表示が出ている時は、オーバーレンジですので測定することができません。

### 仕様

規格	一般形A級照度計に準拠 (JIS C 1609-2006)
表示範囲	0.1~19,990 lx オート3段切換
表示	3・1/2桁LCD 測定範囲外(OVER)表示 電源電圧低下表示 オートパワーオフ機能 (約20秒間表示を保持)
受光素子	シリコンフォトダイオード
直線性	±5% of rdg. ±1digit
斜入射光特性(f2)	6%以下 10° ±1.5%以下 30° ±3%以下 60° ±10%以下 80° ±30%以下
可視域相対分光応答度特性(f1)	標準比視感度からの外れ : 9%以下
紫外域応答度 u	4%
赤外域応答度 r	4%
疲労特性 (ff)	±2%
温度特性	±5% (23℃に対して)
湿度特性	±3% (但し、結露なきこと)
断続光に対する特性	±2%
使用条件	温度 -10℃~40℃ 湿度 85%以下 (結露なきこと)
測定間隔	2回 / 秒
電源	9V乾電池 (形式6F22または6LF22)
外形寸法	68×166×32mm
質量	約150g (本体のみ電池含まず)

○測定基準面 ↑ 受光窓ドーム先端

○受光面均一性について  
受光窓の内面は受光感度が均一ではありません。LED等の照度ムラのある光を受光窓に照射して測定する場合や、受光窓の一部に光を入射して面積換算する照度測定では正しい照度値を得ることが出来ません。

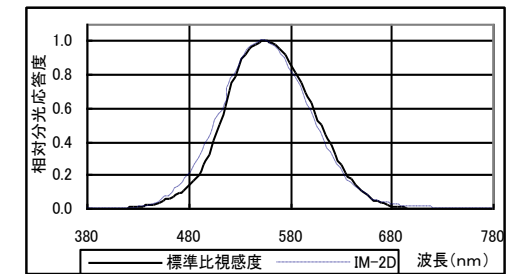
○距離の逆2乗則の成立する距離範囲  
測定基準面より50cm以上

### 資料

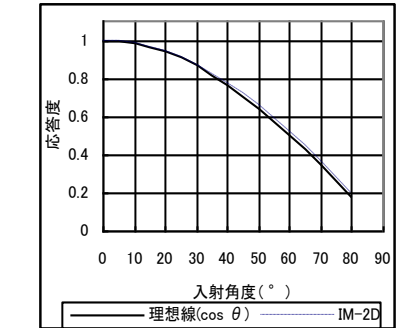
#### ●色補正係数

光源		補正係数
等エネルギー光	380~780nm	0.98 <sub>4</sub>
	400~450nm	1.22 <sub>9</sub>
	450~500nm	0.73 <sub>8</sub>
	500~550nm	0.96 <sub>8</sub>
	550~600nm	1.02 <sub>2</sub>
	600~650nm	1.10 <sub>1</sub>
	650~700nm	0.87 <sub>6</sub>
ランプ	蛍光ランプ F6	1.02 <sub>5</sub>
	蛍光ランプ F8	1.01 <sub>9</sub>
	蛍光ランプ F10	1.03 <sub>3</sub>
	高圧ナトリウムランプ	1.01 <sub>7</sub>
	メタルハライドランプH1	1.02 <sub>0</sub>
	メタルハライドランプH2	1.02 <sub>2</sub>
	高圧水銀ランプ	1.02 <sub>5</sub>

#### ●可視域相対分光応答度特性



#### ●斜入射光特性



お問合せ先

株式会社 **テクノオプティクス**

〒174-0043 東京都板橋区坂下二丁目4番1号

Imas Itabashi BASE 4階

◆製品に関するお問い合わせ先

TEL 03-3558-2666 FAX 03-3558-4661

◆アフターサービスに関するお問い合わせ先

TEL 03-3558-2710 FAX 03-3558-3011

©2004 TechnoOptis Co., Ltd.

ALL RIGHTS RESERVED

IMV-20260421